

町長と
語ろう

テーマ「活力あるまちづくり」

▼問い合わせ
企画グループ ☎079(435)0356



10月7日(火) 午後1時30分～3時
商工会館にて
参加者 商工業者ほか 12人

Q 人口が増えず活力あるまちはできるのか。明石市を入れ3市2町の合併を早くしては

A 合併をという声は、行政懇談会やタウンミーティングでは、ほとんど聞かれない。町のスケールメリットを生かす近隣の広域行政を進めたい

Q ゲリラ豪雨で道に水があふれるので、早急に対処願いたい

A 原因を調査し、住民の命と財産を守るための方法を検討

Q 若い人から、播磨町は幼稚園など福祉が充実し、明石や加古川よりいいといわれる

A 待機児童はなく、病後時保育、子育て支援センター、学童施設など子育て環境はいいと思う

Q 職員にもっと勉強させてほしい

A 職員には研修を受けさせており、さらに改善していきたい

Q 喜瀬川の川遊びの翌日が掃除の日だった。年間スケジュールを知らせ調整すべき

A 川遊びは団体のそれぞれのスケジュールの中で行っており、行政による調整は難しい

Q 緑地の清掃や水やりをしているが、自動車が駐車して夜は一方向しか通れない

A 地域ぐるみの取り組みで、モラルを向上していただきたい

Q 景気が悪く商工業者の売上げが落ちており、備品の調達や飲食は町内でしてほしい

A 地域商業に活発になってほしいが、魅力ある商品、料理の研究もお願いしたい

Q 町長が先頭に立って10年先20年先のまちづくりを考えてほしい。財政赤字を残さず、地球温暖化の中で新しい産業をどう起こすか

A 町と商工会、住民の方々のつながりを太くして町の発展につなげたい

▶今後の予定
事前の申し込みは、不要です。関心のあるテーマにご参加ください

テーマ	日時・場所	対象
これからのまちづくり	12月7日(日) 午前10時～11時30分 中央公民館	一般、 町政モニター

▶問い合わせ 企画グループ ☎079(435)0356

Q 読み聞かせができる部屋がほしい。土山などの方面からはなかなか図書館にこられない。野添「ミセン」の充実や、土山駅南での図書機能は夢なのか

A 部屋は公民館や庁舎などの活用も検討したい。土山駅南については、いつか実現させたい

Q コミセンで役場の仕事を一部してはどうか。今はサークルだけの利用だ

A 住民票の発行にも多額の設備投資が必要であり、今の職員数では不可能

Q 指定管理者制度と直営との違いは

A 経費の削減とサービス向上を目的に、時間の延長と休館日の減少や新たな事業も行っている。地域住民と官が一体になり、協働の取り組みを進めていく

Q 播磨町は何を財産にして何に重点を置くのか

A 大中遺跡やジョセフ・ヒコなど文化面から、子どもたちにかかる意識を持たせたい

Q 学校の図書館に司書がおられるが、どう活躍されているのか

10月15日(水) 午後1時30分～3時20分
図書館視聴覚室にて
参加者 図書館利用者、ボランティア
ほか 15人



A 専門の司書の派遣により、図書の利用が大幅に増え、読書活動なども企画している

Q フィンランドでは親が毎夜、古典を子どもに読んでいます。そんな環境になればいい

A 心の成長には家庭においてもいい環境を作り、親も長い目でみて、関わっていかないとけないのでは

Q 図書館の史跡めぐりで旧街道をまわったが、現地に説明がなくわからない

A 史跡のまわりに現在、民家も建っており、表示については検討していきたい。地域を知っていただくことは大事であり、案内するボランティアも育ててほしいと願っている

テーマ「心豊かなまちづくり」

▶問い合わせ 教育総務グループ
☎079(435)0533

子どもたちの
健やかな成長を願って



教育委員 黒田英造
この度、教育委員という大役を拝命し身心引き締まる思いをしております。

小児科医として30年余り、播磨町で診察を始めて11年が過ぎました。これまで多くの子どもたちに接してきましたが、重症で治療に苦労した子どもたちや入院を繰り返していた子どもたちが、病気を克服して成人となり、今度は自分の子どもを連れて相談に来るようになりました。幼かった子どもが立派に成長した姿を見ることほどうれしいことはありません。一人でも多くの子どもが、困難を乗り越えて健やかに成長できるようお手伝いできればこの上ない喜びです。よろしくご指導お願い申し上げます。

新しい教育委員長と委員の紹介



知の循環型社会を目指して

教育委員長 北林千鶴子
この度、矢田静邦前教育委員長の後任として、教育委員長を拝命することになりました。改めてその重責を感じています。さて、今、我が国の教育に対しては、保護

者のみならず地域の人々の関心や期待、また不安が高まっています。しかし一方では、日本人の相次ぐノーベル賞の受賞など、我が国の教育のすばらしさが世界に示されたところでもあります。この変化の激しい時代にあって、播磨町の子どもたち一人ひとりが着実に生きる力を身につけ、健やかに成長できますように、教育条件の整備などに努めてまいりたいと考えております。また播磨町に暮らすすべての人々が学習の機会に恵まれ、学校教育と社会教育が一体となって知の循環型社会を構築できるように、教育委員会の叡智を結集して取り組んでまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

国民年金保険料はきちんと納めましょう

▶問い合わせ 加古川社会保険事務所
☎079(427)4740
社会保険庁のホームページ
<http://www.sia.go.jp/>



年金は、世代と世代の支え合いの制度です。あなたの納める保険料が、高齢者世代の生活を支えています。同時にあなたや家族が将来年金を受け取ることができるよう保険料は忘れず納めましょう。国民年金の給付には、老後の生活保障である老齢基礎年金

金だけでなく、思わぬ事故などにより障がいが残ったときには障害基礎年金が、生計を維持している人が亡くなったときには残された妻や子に遺族基礎年金が支給されます。保険料を納期限までに納めなければ、このような年金給付を受けられないことがあります。(納期限は納付対象月の翌月の末日。ただし、その日が土曜日、日曜日、祝日に当たると、その翌営業日) また、納期限から2年間を経過すると保険料を納付することができなくなるため、将来、受給する老齢基礎年金の年金額が少なくなったり、受け取ることができなくなる場合があります。

●お得な前納制度
将来の一定期間の保険料をまとめて納める(前納)と、割引があつて大変お得です。前納を希望される場合は、社会保険事務所に相談ください。

▼便利で確実な口座振替

口座振替にすれば、あなたの指定の口座から毎月自動的に保険料が引き落とされます。(原則として、納付対象月の翌月末日)一度手続きをするだけで、毎月金融機関などに出向く必要がなくなり、納め忘れもありません。さらに一括前納(一年前納、半年前納)を口座振替にする割引額が有利になります。また、月々の口座振替を早割(当月保険料を当月末引き落とし)にしても割引があります。

▼手続き 金融機関、郵便局の窓口で、「国民年金保険料口座振替納付申出書」に必要な事項を記入し、届出印を押印の上、お申し込みください。

▼問い合わせ
加古川社会保険事務所
☎079(427)4740
※社会保険事務所については社会保険庁のホームページを参照してください。

